

# 日本図書館情報学会会報

No. 168

2018年2月

日本図書館情報学会事務局  
〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘1-25  
白百合女子大学 今井福司研究室  
(事務局業務に関する問合せ先)  
(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会  
E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>  
ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会  
ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 会費改定（常任理事会案）に対する意見表明のお願い

常任理事会

### 趣旨

前期及び今期の常任理事会では、学会の財政状況の改善を図るべく、収入増に向けての新規会員の獲得を進めるとともに、役員交通費の見直しや諸支出の縮減に取り組んで参りました。その一方で、予備費（次年度への繰越金）の経年的な推移を見ると、毎年、100万円弱の縮小を余儀なくされており、数年後に財政危機が生じる可能性を否定できないとの見解に至りました。また、現在の財政基盤においては、学会の諸事業を最小限のものにすることが避けられず、図書館情報学の発展に貢献する活動に取り組む際の大きな制約になっていると認識しました。

常任理事会では、会費改定を、財政状況の改善方策の選択肢に加える必要があるとの結論に至り、2016年度の会員集会で問題提起を行い、2017年度の第1回理事会での了承のもと、会費改定検討グループ（委員：小田光宏、倉田敬子、今井福司、三浦太郎、以下、「検討グループ」と記す）を組織しました。2017年度の定例（通信）総会開催の挨拶文（『会報』166号掲載）においても、財政危機が現実味を帯びていることを、常任理事会の見解を踏まえて強調しています。

検討グループでは、2017年10月に、中間案に相当する「日本図書館情報学会財政シミュレーション（以下、「財政シミュレーション」と記す）」を示しました。その核となる案は、「現状の財政状態は、すでに、かなり切り詰めたものとなっており、今後、機関誌の刊行と研究集会の開催以外の事業を展開させようとするならば、正会員8,000円、学生会員2,000円、シニア割引5,000円が適切である」というものでした。常任理事会では、この案を会員に示し、賛否と意見を求めるアンケートを、ウェブ上で行いました。また、2017年度第2回理事会ならびに会員集会において、議論を行いました。

アンケートの結果は、賛成70、反対13であり、会費改定に関しては、理解が得られたと判断されず。ただし、アンケートに添えられた意見、理事会ならびに会員集会での発言においては、改定額とシニア割引の適用、改定額に基づく事業展開に関して、様々な見解が寄せられ、また、示されました。これを受けて、常任理事会では、会費改定を行うことを前提にしながらも、具体案に関して見直すこととしました。その修正案となるものが、ここにお示しする常任理事会案です。

会費改定のプロセスは、常任理事会からの提案に基づき、理事会での承認で成立します。しかし、本

学会では、1988 年度以降 30 年にわたって会費改定を行なっていません。それゆえ、会員総意に基づくものであるべきと判断し、総会の議案とすることを基本方針としました。また、再度、会員からの意見表明を求め、慎重に進めることにいたしました。

会員各位におかれましては、以下の常任理事会案をご確認いただき、賛否ならびに建設的なご意見を、お寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

## 会費改定案

常任理事会として、会費額を、2020 年度より、下記のように改定することを提案いたします。入会金は、1,000 円と据え置きにします。

	現行	改定後
正会員	5,000 円	8,000 円
学生会員	2,000 円	2,000 円
団体会員	15,000 円	15,000 円
賛助会員	50,000 円	50,000 円

なお、検討グループの原案では、シニア割引 5,000 円を設定していましたが、不要であるとの意見が、少なくない数の会員から示されたことから、常任理事会案では、設定していません。

## 改定額の算出

上記の改定額は、下記の条件に基づいて行われた財政シミュレーションの結果に依拠するものです。

- ・各項目の支出額は 2015 年度決算、2016 年度決算、2017 年度予算の平均を基本とする。
- ・以下の項目の支出に関しては平均ではなく、最新もしくは妥当な金額を利用した。

研究助成：300,000 円

学会賞等：318,500 円

研究大会開催費：326,000 円

事務局委託の初期費用：0 円

選挙管理費用：138,000 円（前回費用の 1/3（単年度相当額））

- ・各年度の収入の内、正会員と学生会員の会費収入に関しては、未納・先払いなどが複雑に入り乱れるため、会員数を別途推定して用いた。他の収入は、平均を利用した。

こうした条件に基づいて算出すると、支出額は約 740 万円となります。項目ごとの平均額は、下表のようになります。

	項目	平均
1	理事会・常任理事会・監査	749,660
	研究委員会	92,800
	編集委員会	152,216
	学会賞選考委員会	31,333
	総務委員会	38,474
	その他事業	87,391
	選管費用1/3	138,000
	会報発行費	587,934
	事務局運営費	1,269,846
2	研究大会開催費	326,000
	研究大会シンポジウム	56,493
	春季研究集会開催費	310,994
	研究助成費	300,000
3	学会誌発行費	2,939,437
4	学会賞等	318,500
	総計	7,399,078

一方、収入額は、次のように算出できます。

正会員と学生会員以外の収入の平均 3,159,714 円→316 万円

正会員と学生会員の会費として必要な金額→424 万円

さらに、会費額設定の基準となる正会員と学生会員の会員数は、2017 年度予算時点での正会員 678 人、学生会員 58 人と 2018 年 1 月時点での会費納入率（8 割弱）を参考に設定しました。すなわち、正会員 540 人、学生会員 40 人が、基準会員数です。

この基準会員数に、前述の改定額を掛け合わせると、下記の収入額が算出できます。

正会員の会費収入 4,320,000 円

学生会員の会費収入 80,000 円

合計 4,400,000 円

この合計額は、上述した必要な金額に対して 16 万円超となり、財政状態としては、安定します。

### 新事業の創出

上述の算定に基づいて、現状よりも 16 万円程度の財政上のゆとりが生まれ、また納入率が高まり、かつ維持できれば、さらに収入増となるため、いくつかの新事業に取り組むことができ、図書館情報学の発展に資するものと思われます。例えば、次のような事業です。

- ・研究助成の増額
- ・大学院生の研究発表補助
- ・学会誌編集委員会関係（英文抄録の校閲，視覚障害者へのテキストファイルの提供など）
- ・調査研究事業

## 意見表明の要領

意見表明については，学会ウェブサイトに掲示されたフォームより，2018年3月16日（金）までにお寄せ下さい。ウェブサイトが利用できない場合は，以下の事務局住所までご送付ください（書式は自由です）。

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘1-25 白百合女子大学今井福司研究室内 日本図書館情報学会事務局

## 2018年度春季研究集会の研究発表申込について

会員各位

日本図書館情報学会会長  
小田光宏

2018年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので，〈発表募集要領〉および〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉をよくお読みのうえ，ふるってご応募ください。春季研究集会の円滑な運営のため，募集要領，発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

春季研究集会関係の情報は，学会のホームページでも随時，提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

主催：日本図書館情報学会

日時：2018年5月12日（土）10:00～18:00（予定）

会場：早稲田大学早稲田キャンパス国際会議場（18号館）3階

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-20-14

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

アクセス：

- ・高田馬場駅より早大正門行きバス 西早稲田下車 徒歩3分
- ・地下鉄東西線早稲田駅より 徒歩10分
- ・都電 早稲田駅より 徒歩2分

宿泊：会場校での斡旋は行いませんので，各自でご手配ください。

参加費：正会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 3,000 円（予定）

## <発表募集要領>

- (1) 応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

## 重要

研究発表の申込は、申込時点で正会員・学生会員である者に限ります。入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。未入会の方は、2018年2月20日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。

- (2) 発表時間：1件30分（発表時間20分、質疑応答10分）
- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も、申込、発表論文、発表、記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが、多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み、基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。  
申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上、お申し込みください。なお、受理された発表申込はウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (4) 申込締切：2018年3月12日（月）24時必着  
申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。申し込んだにもかかわらずメールがない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までにご連絡ください。
- (5) 発表論文の提出：発表することが決まった場合には、A4判で4枚の発表論文を作成し、2018年4月6日（金）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。
- (6) 発表のための機材：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には、研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までお問い合わせください。

## <研究大会・春季研究集会における発表のルールについて>

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表論文の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は、発表を取り下げたものとみなす。
- (7) 発表申請受理後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表スケジュール）の変更は原則として認めない。
- (8) 発表申込、発表論文作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

(9) 発表当日の資料配布は、原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は、発表当日の1週間前までに研究委員会宛に、資料に配布の理由を添えて申請し、承諾を得る。資料配布が認められた場合は、印刷、配布および回収は発表者自身で責任をもって行う。

<発表者への諸注意>

- (1) 発表会場へは遅くとも、セッションの始まる10分前には到着するようにしてください。
- (2) 会場の備え付けの発表用PCに発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けのPCでの発表としています。持ち込みPCの利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に<PCのつなぎかえの希望>について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込みPCのつなぎかえはできません。

※ 発表論文集は有償で頒布します。価格は会員2,000円、非会員3,000円(予定)です。郵送を希望する場合は、下記連絡先にご一報下さい。研究集会終了後に振込先の連絡を差し上げますので、2週間以内に郵送料(レターパックライト360円)との合計額を指定の口座にお振り込みください。入金を確認され次第、論文集を送付します。

連絡先：研究委員会 (kenkyu@jslis.jp)

件名は「春季研究集会発表論文集頒布希望」としてください。

2018年度研究助成の公募
---------------

研究委員会

本学会では、図書館情報学振興のために、会員が自発的に計画した研究調査の遂行ならびにその結果の取りまとめに要する経費の一部を助成する事業を実施しています。2018年度は①『日本図書館情報学会誌』に原著論文として投稿を予定し研究を行っている者、②図書館情報学分野での科研費の申請を予定し研究を行っている者、③博士論文執筆のための研究に取り組んでいる者を主たる対象として次の要領で募集を行います。研究歴が浅い研究者、外部資金を得にくい条件にある研究者を優先的に支援します。またこれから研究が本格化する萌芽的研究も本助成の対象とします。ふるってご応募ください。

記

1. 助成額

30万円を1件の申請額の上限とし、一定の選考条件を満たした研究に交付予定。なお審査の結果、申請額が減額されることがある。

2. 応募条件

- a. 本学会の個人会員が、個人もしくはグループで行う研究であること。ただし、グループ研究の場合、研究代表者が個人会員であれば、研究分担者が会員である必要はない。共同研究の人数は3人程度とする。
- b. 応募は研究代表者が申込時点で正会員・学生会員である者に限る。すなわち入会が承認されていない場合は、研究助成の応募はできない。未入会者は、応募申込締切前の入会申込締切日となる4月20日までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をすること。
- c. 2019年3月31日までに研究を終了させていること。
- d. 2019年3月31日までに所定の書式によって「研究成果報告書」「会計報告書」および領収書のデジタルコピーを提出すること。
- e. 以下のいずれかの要件を満たすこと。
  - ・研究終了後2年以内（2021年3月31日まで）に『日本図書館情報学会誌』に研究代表者が単独あるいは筆頭著者となる原著論文として投稿すること。
  - ・研究終了の翌年度（2019年度）内に研究代表者が代表者として科研費に応募し、その申請書を提出すること。
  - ・研究終了後3年以内（2022年3月31日まで）に研究代表者が博士論文を提出すること。
- f. すでに本助成に申し込んだことがある場合、以前の助成の要件が満たされている場合のみ、本年度の申請を認める。

### 3. 選考および選考後の報告義務

「研究費助成申込書」に基づいて研究委員会が選考する。結果は応募者に直接通知するとともに、会報に助成者名と研究題目を掲載する。

- ・助成者は研究終了後1ヶ月以内に、領収書の電子複写物を研究委員会に提出すること。
- ・助成者は2.応募条件のe.に示された要件を満たした時点で、すみやかに研究委員会に報告すること。もし要件を満たせない事情が生じた場合、各応募条件の要件となる締切期日の1ヶ月前までに研究委員会に連絡すること。その際は、然るべき措置を講じる。

### 4. 応募方法

学会ウェブサイトから研究助成公募申請フォーム（2018年4月上旬に掲載予定）にアクセスの上、お申し込みください。申請に必要な応募項目は以下の10項目を予定しています。

(1) 提出日

(2) 研究代表者の情報

氏名

ふりがな

所属

会員種別

E-mail

(3) 研究分担者の情報

氏名

ふりがな

所属

## 役割分担

※共同研究の場合のみ、研究代表者以外の研究分担者全員を記入してください。役割分担については、研究の実施計画に対する分担事項等を具体的に記入してください。

### (4) 研究題目

### (5) 申請金額（円） ※上限 30 万円

内訳（円）

資料購入費・機器購入費・印刷複写費・旅費・消耗品費・謝金・その他の各金額を示してください。研究計画と経費の整合性を明らかにしてください。

### (6) 研究の目的（700 字程度）

この研究助成を希望することによって、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

### (7) 研究の意義（500 字程度）

この研究の学術的な特色・独創性および期待される成果等について、具体的に記入してください。

### (8) 研究の実施計画（800 字程度）

研究目的を達成するための計画・方法について、①これまでの準備状況、②本研究助成金との関連性、の二点を含めて具体的に記入してください。研究目的との整合性を明らかにしてください。

### (9) 研究成果の発表時期と方法（200 字程度）

2. 応募条件 e. のいずれを予定しているか具体的に記入してください。

### (10) 特記事項（200 字程度）

例えば「大学院生であるため科研費の応募資格がない」等、この助成が必要な特別の事情などがあれば、記入してください。

## 5. 応募締切

2018 年 5 月 5 日（土）24 時必着

## 役員会等の記録

### 2017 年度第 3 回常任理事会（開催記録）

日時：2017 年 10 月 15 日（日）15：00～19：30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19階 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，浅石，今井（記録），岩崎，荻原，三浦

欠席者：なし

議事内容：

1. 各委員会・特命事項に関する報告・協議
2. 学会賞・論文賞・奨励賞の選考
3. 学会活動に貢献があった者への感謝状の贈呈
4. 2017 年度第 2 回理事会の議題整理
5. 2017 年度研究集会の次第整理
6. 事務局に関する報告・協議



## 2017 年度第 4 回常任理事会（開催記録）

日時：2017 年 12 月 2 日（土）13:00～16:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19 階 共同実習室 2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，三浦，浅石，今井（記録），岩崎，荻原，

欠席者：なし

議事内容：

1. 会費改定作業
2. 『図書館情報学用語辞典 第 5 版』刊行検討Gの組織
3. 各委員会・特命事項に関する報告・協議
4. 2018 年度に向けての検討
5. その他

## 2017 年度第 2 回理事会（開催抄録）

日時：2017 年 10 月 28 日（土）13：00～15：00

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 19 階 共同実習室 2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，浅石，三浦，今井（記録），岩崎，荻原，安形輝，安形麻理，池谷，高久，松本，吉田

欠席者（敬称略）：石田，泉山，河西，岸田，佐藤，高山，田窪，松林，山本（以上，議決委任）

列席：渡辺監事

### 1. 2017 年度定例（通信）総会の結果報告

通信総会の成立ならびに議案成立が確認された。

### 2. 学会賞，論文賞，奨励賞の選考と授与について

資料に基づいて，学会賞，論文賞，奨励賞の選考過程について報告が行われた。その結果，学会賞は該当なし，論文賞 1 件，奨励賞 1 件とする提案が行われ，全て承認された。

### 3. 学会活動へ貢献があった者への感謝状の贈呈

該当なしとの案が提出され承認された。

### 4. 会費改定検討 WG の検討結果・アンケート実施

小田会長より，会費改定検討 WG の検討結果・アンケート実施の経緯について報告された。今井事務局長より現在寄せられている賛否の状況ならびに寄せられているコメントについて概要が報告され，議論が行われた。

### 5. 春季研究集会の申込者情報漏洩について

会報 10 月号に掲載した内容に基づき，小田会長より報告が行われた。

### 6. 事業の経過報告

資料に基づき，各委員会より以下の通り，事業の経過報告が行われた。

- ・ 青柳研究委員長より、「わかる！図書館情報学」シリーズの刊行状況について報告が行われた。
- ・ 岩崎国際化担当常任理事より、学会の国際化について対応状況が報告され、海外在住の会員に対する対応や制度を今年度整備していきたい旨の報告が行われた。
- ・ 浅石ウェブサイト担当常任理事より、JSLIS の Web サイト改訂状況について報告され、年内には完成したいとの報告が行われた。
- ・ 浅石 J-STAGE 担当常任理事より、PPV について初期費用 5 万円、毎月 2 万円のランニングコストが発生すること、費用対コストの問題から PPV については凍結することが報告された。
- ・ 三浦図書館情報学教育担当常任理事より、10 月 13 日（金）にシンポジウム「図書館情報学教育の広がり可能性：日本図書館情報学会の調査報告を基にして」（共催：日本図書館協会図書館情報学教育部会）を実施したことが報告された。

#### 7. ポスター発表について

青柳研究委員長より資料に基づいて、ポスター発表の実施について提案が行われた。小田会長から、理事会で示した理由として、開催校との打ち合わせが必要となるためである旨の説明が行われ、試行として進めたいとの提案が行われた。議論の結果、来年度研究大会においてポスター発表を試行することが決定された。

#### 8. 2017 年度会員集会の次第

資料に基づいて会員集会の次第が確認された。

#### 9. 会員・会費状況

今井事務局長より資料に基づいて報告が行われた。

### 委員会・事務局より

#### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」, 「執筆要綱」, 「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2017 年 10 月 15 日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/c\\_reg\\_171015.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/c_reg_171015.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016 年 10 月 8 日改訂  
[http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w\\_out\\_161008.pdf](http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2016 年 10 月 8 日改訂  
[http://old.jslis.jp/journal/JSLIS\\_review\\_rule161008.pdf](http://old.jslis.jp/journal/JSLIS_review_rule161008.pdf)

#### 『日本図書館情報学会誌』63巻4号について

2017 年 12 月に発行いたしました「日本図書館情報学会誌」Vol. 63, No. 4 において、版面の左右に傾きが生じておりますことをお詫び申し上げます。印刷会社からは、製本不良につき以後十分注意する

との謝罪文が寄せられております。会員の皆様におかれましても、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。3月20日(火)までにお申し出頂いた方には、PDF版を提供させていただきますので編集委員会 journal@jslis.jp まで御連絡ください。よろしくご了承のほどお願い申し上げます。(編集委員会)

### 視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』のPDF版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。(編集委員会)

### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDFの添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。(総務委員会)

### 2017年度の会費納入のお願い

2017年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2016年度までの会費を未納の場合は、2017年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員(学生会員は2年)については、その年度末(3月31日)に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で2017年4月から就職された方については、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から5,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。(事務局)

#### **【振り込み先】**

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお、本年度より学会費のクレジットカードによる支払いができるようになりました。下記のサイトからログインの上、決済が行えます。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

### 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム(SOLTI)から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページ([http://www.jslis.jp/membership\\_3.html](http://www.jslis.jp/membership_3.html))に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。(事務局)

## 学会受領資料

紙幅の都合により，図書のみ記載しております。（編著者名の五十音順）

齋藤泰則著 『論考 図書館とレファレンスサービス』 樹村房 2017年

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には，可能であれば事務局（白百合女子大学今井研究室）まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

（事務局）